

# 管内小規模事業者景気動向調査 調査結果分析報告書

令和2年2月  
三戸町商工会

# I 調査概要

---

## 1. 調査目的

小規模事業者の経営内容を把握し、三戸町管内の経済。景気動向を正確に把握することを目的とする。

## 2. 調査

調査は質問紙調査票により、小規模事業者を対象として、巡回訪問により実施した。

## 3. 調査期間

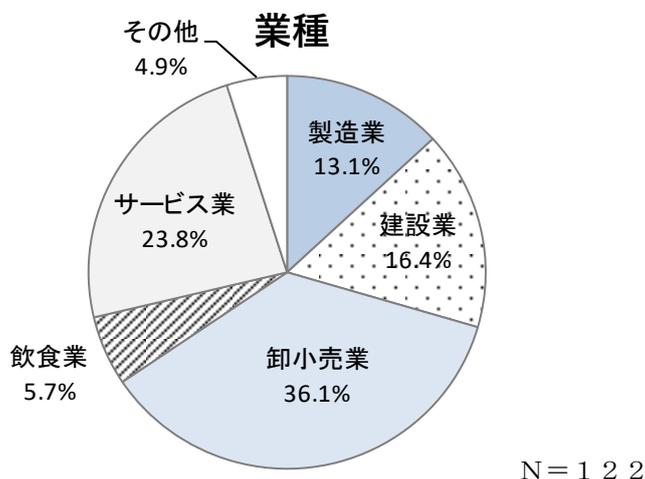
令和元年12月1日～令和元年12月31日

## 4. 調査項目

自社や業界の業況、売上高、営業利益、資金繰り、人員や人手、従業員、仕入価格、在庫状況、経営上の問題や課題等

## 5. 回答状況

回答事業所数は122事業所であった。回答事業所の業種割合は以下のとおりである。



## 6. 集計分析依頼先

有限会社オフィスエスティ

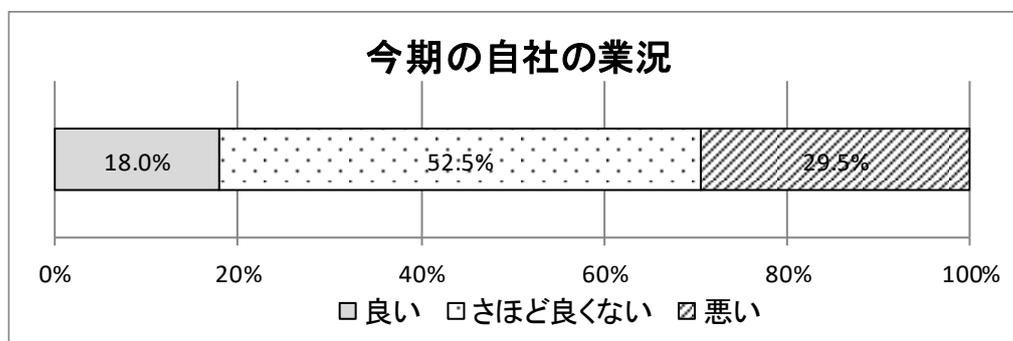
## II 集計結果

### 1. 前期と比較した今期の業況等について

業況の判断として、前年同期に比べ「良い」・「増えた」と回答した事業所割合から、「悪い」・「下がった」とする事業所割合を差し引いた値である「D I 値」を示す。また、「前年度D I 値」は、昨年度実施した同様の調査結果のD I 値である。

D I 値の解釈については、「30 以上」が「良い」、「10～30 未満」が「やや良い」、「10 未満～▲10」が「横ばい」、「▲10 超～▲30 未満」が「やや悪い」、「▲30 以上」が「悪い」とする。

#### (1) 今期の自社の業況について

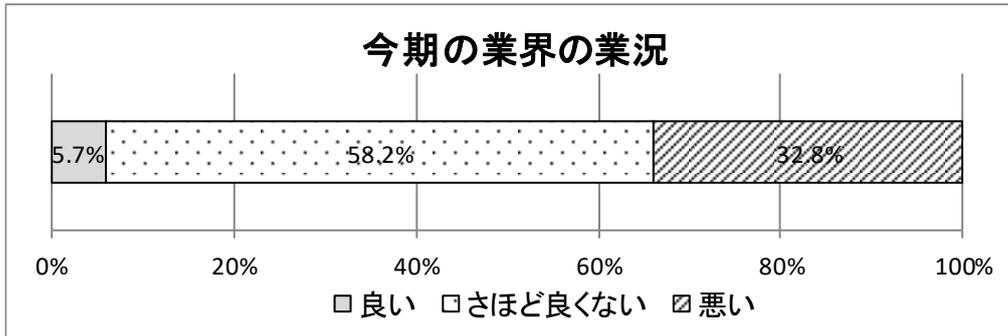


#### <業種別>

	合計	良い	さほど 良くない	悪い	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	22 18.0%	64 52.5%	36 29.5%	▲ 11.5	▲ 12.7
製造業	16 100.0%	2 12.5%	8 50.0%	6 37.5%	▲ 25.0	▲ 10.5
建設業	20 100.0%	4 20.0%	13 65.0%	3 15.0%	5.0	8.3
卸小売業	44 100.0%	9 20.5%	18 40.9%	17 38.6%	▲ 18.2	▲ 34.3
飲食業	7 100.0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	14.3	▲ 17.6
サービス業	29 100.0%	5 17.2%	16 55.2%	8 27.6%	▲ 10.3	▲ 10.7
その他	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	▲ 16.7	66.7

全体の今期の自社の業況については、D I 値が▲11.2%ポイントであった。業種別では、「建設業」と「飲食業」の業種でD I 値がプラスであったが、それ以外はマイナスで、特に「製造業」がD I 値▲25.0%ポイントで他の業種よりも業況が悪い結果となっており、「その他」は前年度66.7%ポイントから▲16.7%ポイントと非常に悪い状況となっている。

(2) 今期の業界の業況について

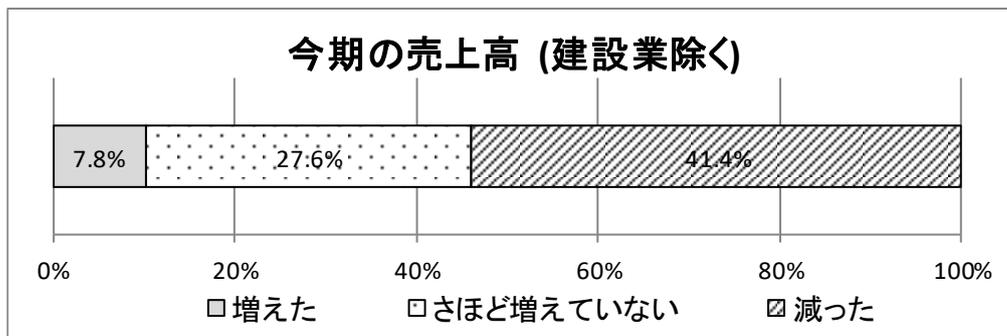


<業種別>

	合計	良い	さほど良くない	悪い	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	7 5.7%	71 58.2%	40 32.8%	▲ 27.0	▲ 21.4
製造業	16 100.0%	0 0.0%	7 43.8%	8 50.0%	▲ 50.0	0.0
建設業	20 100.0%	4 20.0%	15 75.0%	1 5.0%	15.0	8.3
卸小売業	44 100.0%	1 2.3%	26 59.1%	17 38.6%	▲ 36.4	▲ 42.9
飲食業	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	▲ 14.3	▲ 23.5
サービス業	29 100.0%	1 3.4%	16 55.2%	11 37.9%	▲ 34.5	▲ 35.7
その他	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	▲ 16.7	0.0

全体の今期の業界の業況は、D I 値が▲27.0%ポイントで、前年度よりも若干マイナスへとシフトしている結果になっている。業種別では、「建設業」のD I 値がプラス 15%ポイントで良い状況であり、逆に「製造業」は▲50.0%ポイントと前年度は 0.0%ポイントであったのに対して非常に悪い状況になっている。

(3) 今期の売上高について (建設業除く)

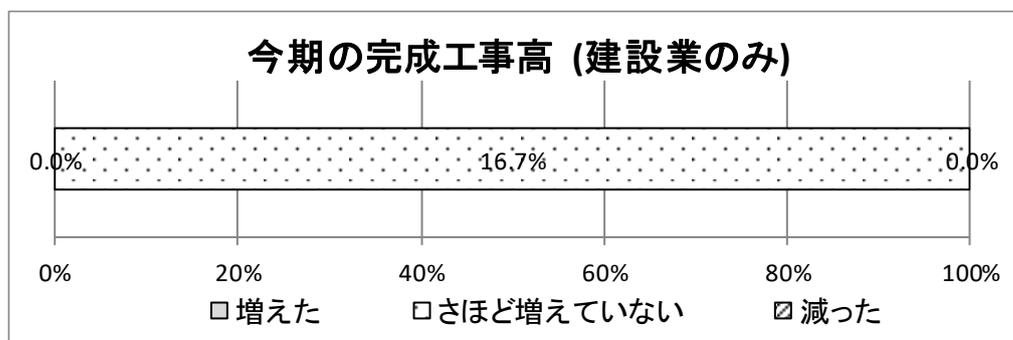


<業種別>

	合計	良い	さほど 良くない	悪い	D I 値	前年度 D I 値
全体 (建設業除く)	102 100.0%	10 9.8%	43 42.2%	49 48.0%	▲ 38.2	▲ 38.2
製造業	19 100.0%	2 10.5%	9 47.4%	8 42.1%	▲ 31.3	▲ 31.6
建設業	- -	- -	- -	- -	0.0	0.0
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	15 42.9%	18 51.4%	▲ 47.7	▲ 45.7
飲食業	17 100.0%	3 17.6%	5 29.4%	9 52.9%	14.3	▲ 35.3
サービス業	28 100.0%	3 10.7%	11 39.3%	14 50.0%	▲ 44.8	▲ 39.3
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	▲ 16.7	0.0

建設業を除いた今期の売上高については、D I 値が▲38.2%ポイントで前年度と同様であった。業種別では、「飲食店」以外のD I 値がマイナスで、特に「卸小売業」がD I 値▲47.7%ポイントと前年度と同様に悪い状況になっている。

(4) 今期の完成工事高について (建設業のみ)

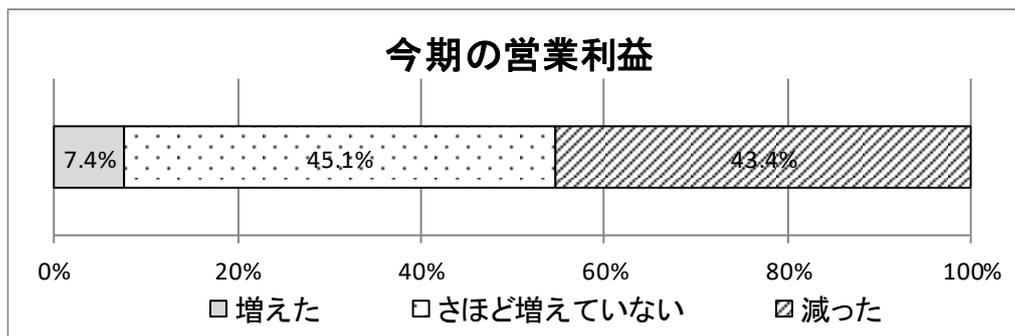


<業種別>

	合計	良い	さほど 良くない	悪い	D I 値	前年度 D I 値
建設業	20 100.0%	4 20.0%	13 65.0%	3 15.0%	5.0	▲ 20.8

建設業のみに尋ねた今期の完成工事高については、D I 値が 5.0%ポイントと、前年度の▲20.8%ポイントと比較し、完成工事高は良い状況になっていることがわかる。

(5) 今期の営業利益について

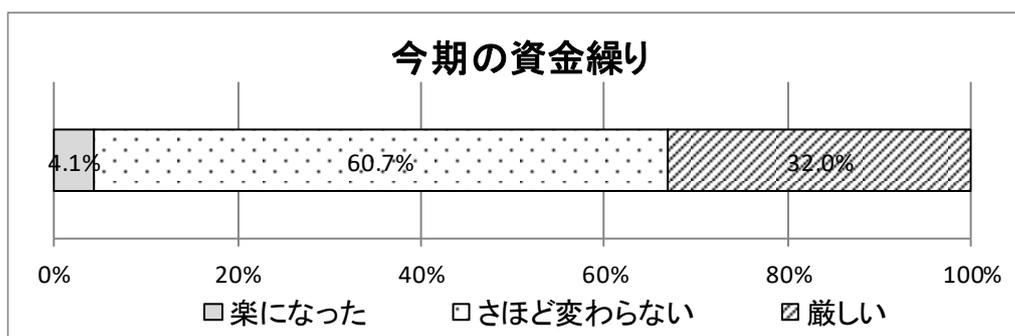


<業種別>

	合計	増えた	さほど増えていない	減った	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	9 7.4%	55 45.1%	53 43.4%	▲ 36.1	▲ 37.3
製造業	16 100.0%	2 12.5%	6 37.5%	8 50.0%	▲ 37.5	▲ 47.4
建設業	20 100.0%	2 10.0%	12 60.0%	5 25.0%	▲ 15.0	▲ 25.0
卸小売業	44 100.0%	4 9.1%	16 36.4%	22 50.0%	▲ 40.9	▲ 48.6
飲食業	7 100.0%	0 0.0%	5 71.4%	2 28.6%	▲ 28.6	▲ 41.2
サービス業	29 100.0%	1 3.4%	11 37.9%	15 51.7%	▲ 48.3	▲ 25.0
その他	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	▲ 16.7	▲ 33.3

全体の今期の営業利益は、D I 値が▲36.1%ポイントと前年度の▲37.3%ポイントよりも良いほうに営業利益が増えた傾向にあるといえる。すべての業種でマイナスのD I 値であるが、特に「サービス業」▲48.2%ポイントと前年度よりも悪い状況で、「卸小売業」は▲40.9%ポイントで前年度よりはマイナスの程度が小さくなったが、全体D I 値よりも悪い状況になっている。

(6) 今期の資金繰りについて

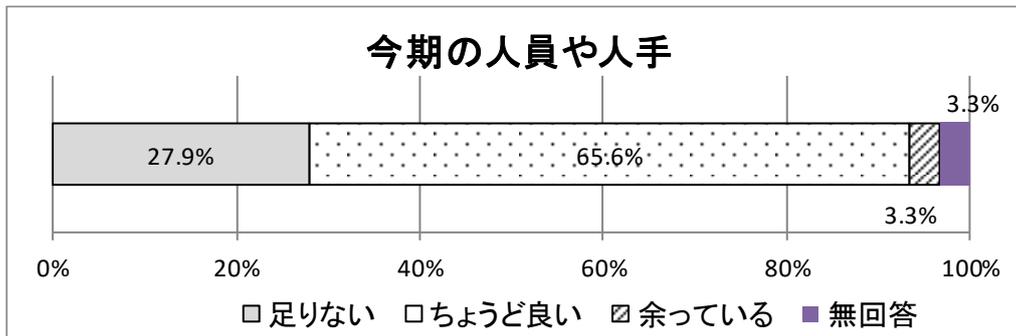


<業種別>

	合計	楽になった	さほど 変わらない	厳しい	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	5 4.1%	74 60.7%	39 32.0%	▲ 27.9	▲ 27.8
製造業	16 100.0%	2 12.5%	8 50.0%	6 37.5%	▲ 25.0	▲ 15.8
建設業	20 100.0%	0 0.0%	13 65.0%	7 35.0%	▲ 35.0	▲ 8.3
卸小売業	44 100.0%	2 4.5%	24 54.5%	16 36.4%	▲ 31.8	▲ 45.7
飲食業	7 100.0%	0 0.0%	6 85.7%	1 14.3%	▲ 14.3	▲ 35.3
サービス業	29 100.0%	1 3.4%	18 62.1%	8 27.6%	▲ 24.1	▲ 17.9
その他	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	▲ 16.7	▲ 100.0

今期の資金繰りについては、全体のD I 値が▲27.9%ポイントで、ほぼ前年度と同様の結果であった。すべての業種でマイナスのD I 値であるが、特に「建設業」のD I 値が▲35.0%ポイントと厳しい状況となっている。

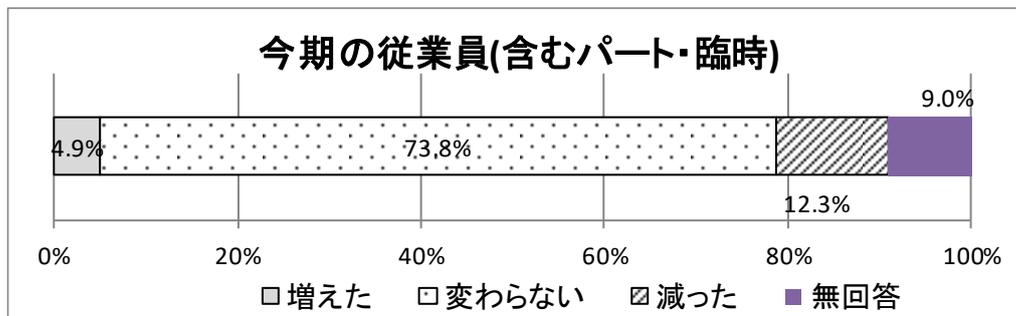
(7) 今期の人員や人手について



	合計	足りない	ちょうど 良い	余って いる	無回答	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	34 27.9%	80 65.6%	4 3.3%	4 3.3%	24.6	26.2
製造業	16 100.0%	4 25.0%	11 68.8%	0 0.0%	1 6.3%	25.0	26.3
建設業	20 100.0%	8 40.0%	11 55.0%	0 0.0%	1 5.0%	40.0	58.3
卸小売業	44 100.0%	11 25.0%	28 63.6%	3 6.8%	2 4.5%	18.2	2.9
飲食業	7 100.0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	14.3	17.6
サービス業	29 100.0%	8 27.6%	21 72.4%	0 0.0%	0 0.0%	27.6	32.1
その他	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	16.7	33.3

全体の今期の人員や人手は、D I 値が 24.6%ポイントであった。すべての業種でプラスのD I 値で人員・人手不足の状況が見られる。特に、「建設業」のD I 値が前年度の 58.3%ポイントよりは少ない 40.0%ポイントとなっているが、人員・人手不足の状況は変わっていない。

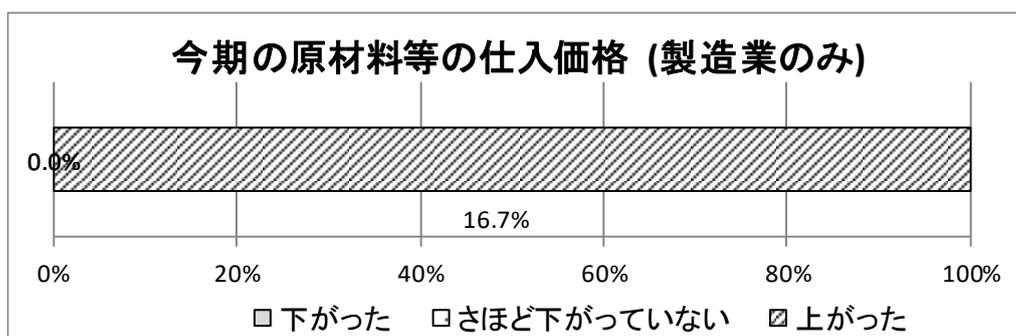
(8) 今期の従業員について (含むパート・臨時)



	合計	増えた	変わらない	減った	無回答	D I 値	前年度 D I 値
全体	122 100.0%	6 4.9%	90 73.8%	15 12.3%	11 9.0%	1.0	1.0
製造業	16 100.0%	0 0.0%	13 81.3%	2 12.5%	1 6.3%	▲ 12.5	▲ 5.3
建設業	20 100.0%	1 5.0%	14 70.0%	5 25.0%	0 0.0%	▲ 20.0	▲ 4.2
卸小売業	44 100.0%	3 6.8%	32 72.7%	4 9.1%	5 11.4%	▲ 2.3	0.0
飲食業	7 100.0%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	1 14.3%	14.3	5.9
サービス業	29 100.0%	1 3.4%	22 75.9%	4 13.8%	2 6.9%	▲ 10.3	0.0
その他	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%	0.0	0.0

全体の今期の従業員については、前年度と同様でD I 値が 1.0%ポイントであった。特に「建設業」が▲20.0%ポイントと、従業員 (含むパート・臨時) が減っている状況が見られる。

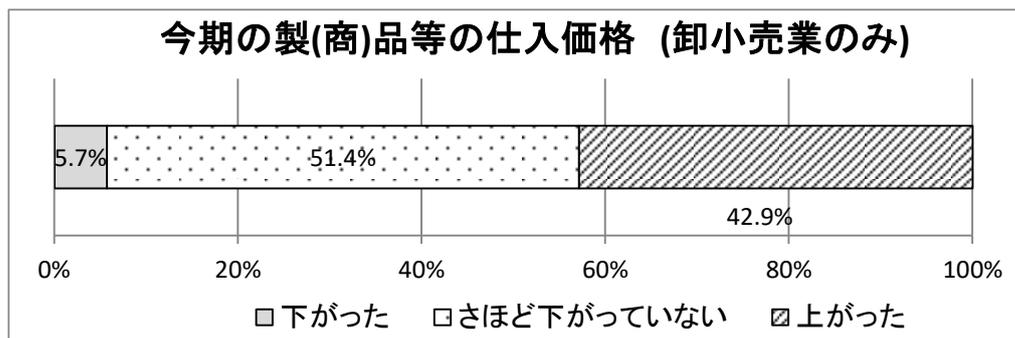
(9) 今期の原材料等の仕入価格について (製造業のみ)



	合計	下がった	さほど下がっていない	上がった	D I 値	前年度 D I 値
製造業	16 100.0%	0 0.0%	4 25.0%	10 62.5%	▲ 62.5	▲ 68.4

製造業の原材料等の仕入価格については、D I 値は▲62.5%ポイントで、前年度▲68.4%ポイントとほぼ同様で、今期の原材料の仕入れ価格が上がっている状況である。

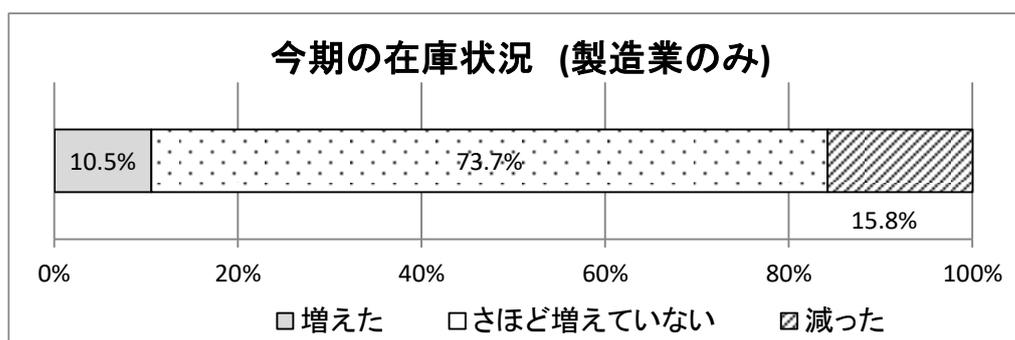
(10) 今期の製(商)品の仕入価格について(卸・小売業のみ)



	合計	下がった	さほど下がっていない	上がった	D I 値	前年度 D I 値
卸小売業	35 100.0%	2 5.7%	18 51.4%	15 42.9%	▲ 31.8	▲ 37.1

卸小売業での製(商)品等の仕入価格については、D I 値が▲31.8%ポイントで前年度の▲37.1%ポイントと同様、今期の製(商)品の仕入価格が上がっている状況である。

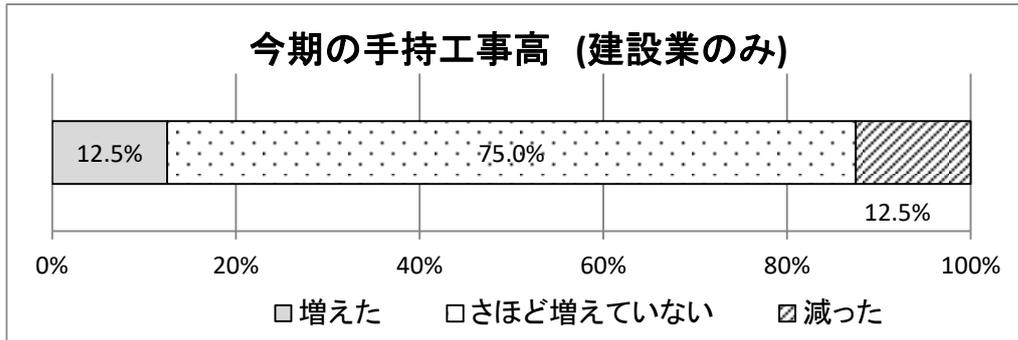
(11) 今期の在庫状況について(製造業のみ)



	合計	増えた	さほど増えていない	減った	D I 値	前年度 D I 値
製造業	19 100.0%	2 10.5%	14 73.7%	3 15.8%	▲ 6.3	▲ 5.3

製造業の在庫状況については、D I 値が▲6.3%ポイントで、前年度▲5.3%ポイントよりやや減少が上回っているものの横ばいの状況である。

(12) 今期の手持工事高について (建設業のみ)



	合計	増えた	さほど 増えていない	減った	D I 値	前年度 D I 値
建設業	24 100.0%	3 12.5%	18 75.0%	3 12.5%	0.0	0.0

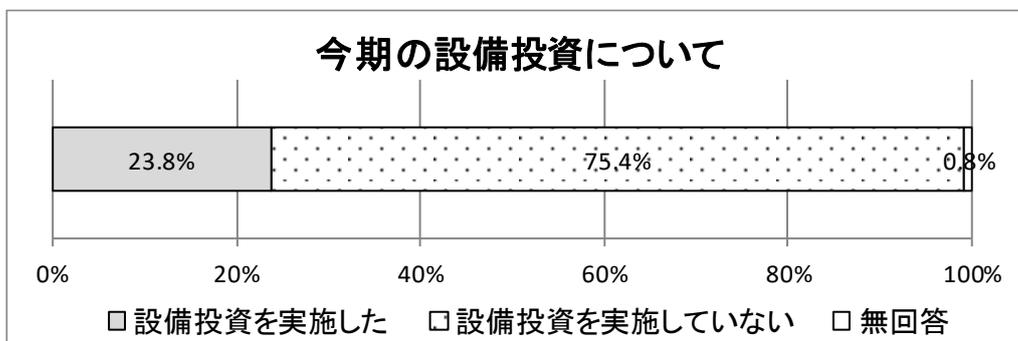
建設業の手持ち工事高については、D I 値が 0 と前年度調査と変わらずであった。

<その他業況等コメント>

人手不足に対応し 103 万、130 万の枠をなくして総合所得で課税を望む
酒、たばこ、食品、日用品とも年々悪い
前年度より少し売り上げが上がった

2. 前期と比較した今期の業況について

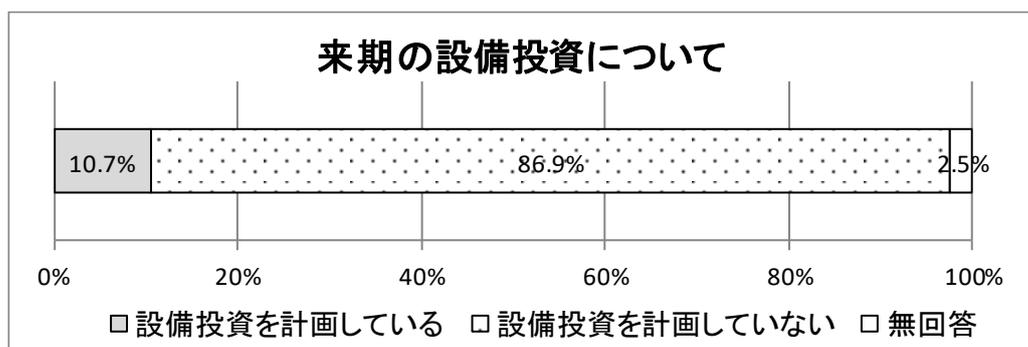
(1) 今期の設備投資について



今期の設備投資については、設備投資を実施していない事業所が 75.4%で、前年度調査では 81.0%で前年度よりは若干設備投資をしていない割合が少なくなったものの、ほとんどの事業所では、設備投資が行われていない結果が明らかとなった。

	合計	実施した	実施していない	無回答
全体	122 100.0%	29 23.8%	92 75.4%	1 0.8%
製造業	16 100.0%	3 18.8%	13 81.3%	0 0.0%
建設業	20 100.0%	8 40.0%	12 60.0%	0 0.0%
卸小売業	44 100.0%	9 20.5%	35 79.5%	0 0.0%
飲食業	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%
サービス業	29 100.0%	4 13.8%	24 82.8%	1 3.4%
その他	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%

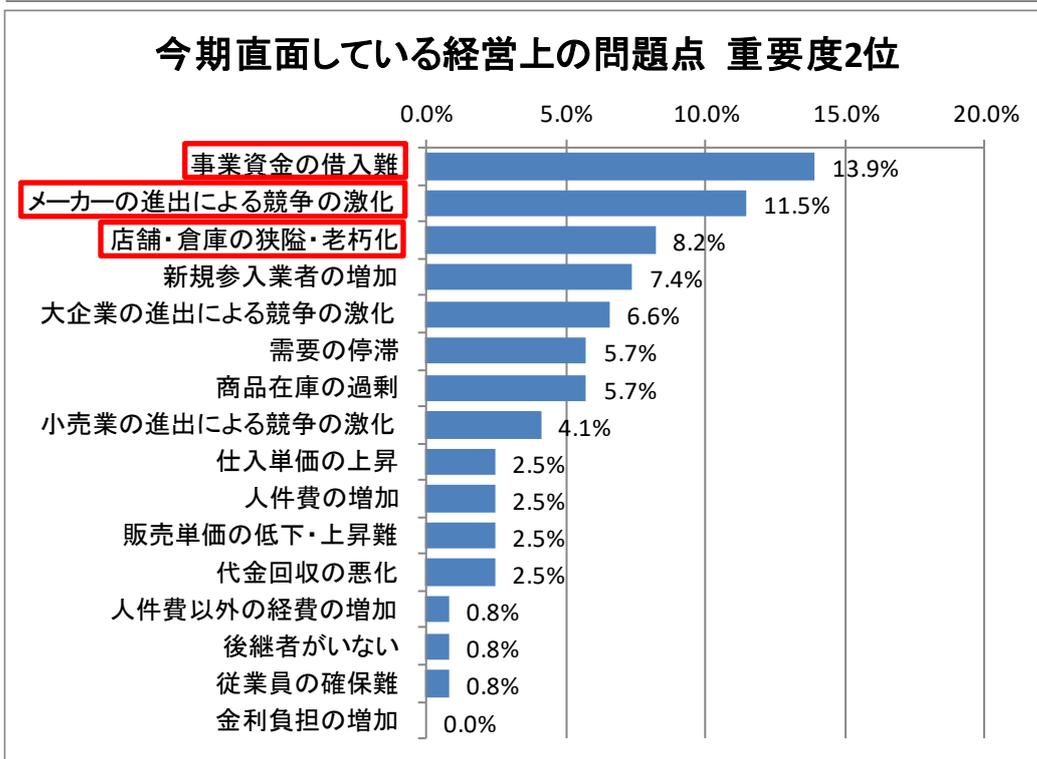
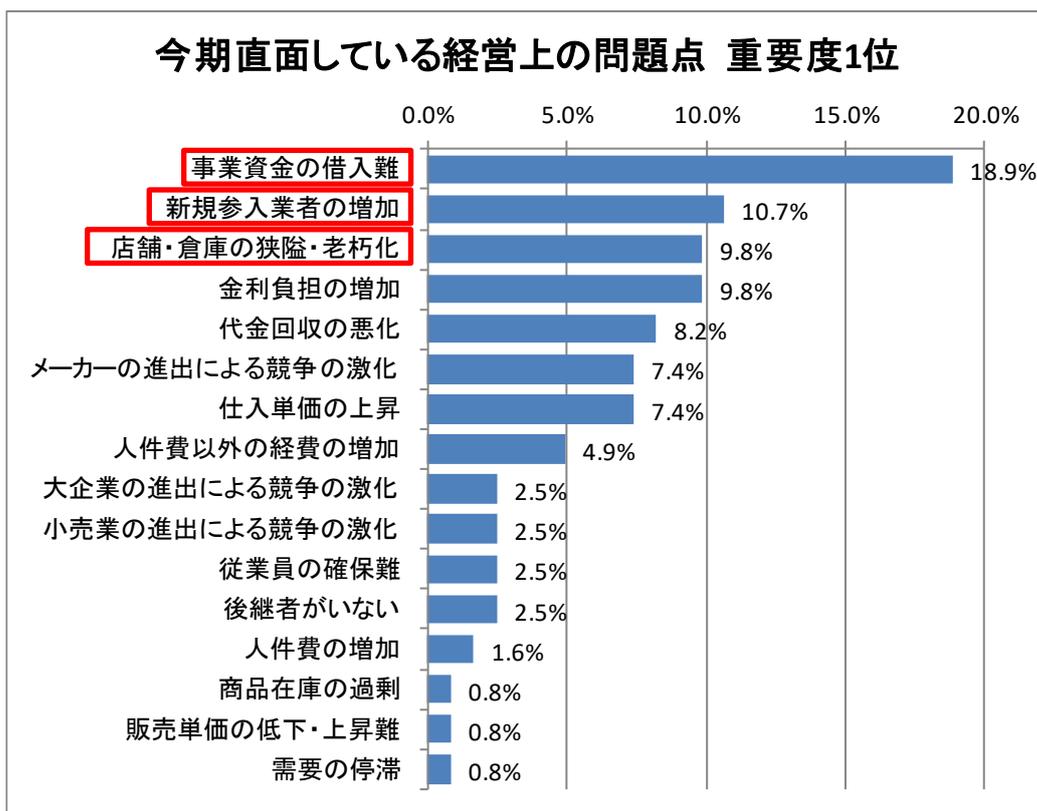
(2) 来期の設備投資について



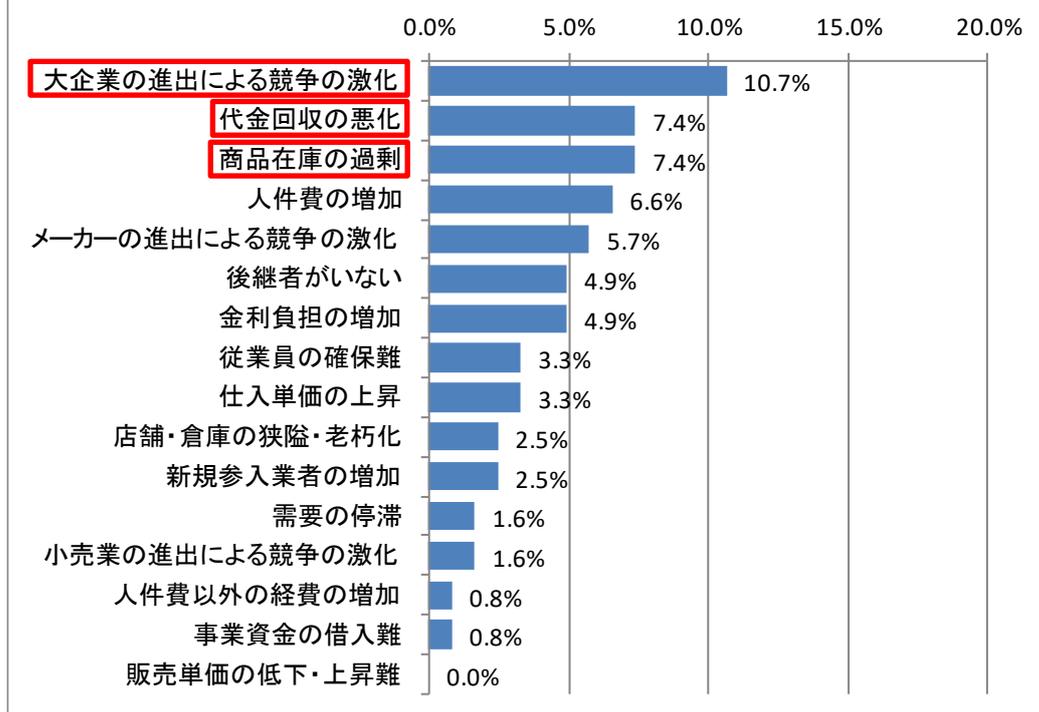
	合計	設備投資を計画している	設備投資を計画していない	無回答
全体 (建設業除く)	122 100.0%	13 10.7%	106 86.9%	3 2.5%
製造業	16 100.0%	1 6.3%	14 87.5%	1 6.3%
建設業	20 100.0%	5 25.0%	14 70.0%	1 5.0%
卸小売業	44 100.0%	1 2.3%	43 97.7%	0 0.0%
飲食業	7 100.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%
サービス業	29 100.0%	4 13.8%	25 86.2%	0 0.0%
その他	6 100.0%	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%

来期の設備投資については、今期の設備投資を実施していない割合を上回る 86.9%の事業所が設備投資を計画していないと回答している。計画している事業所はわずか 10.7%であった。

### 3. 今期直面している経営上の問題点について



## 今期直面している経営上の問題点 重要度3位



<その他、経営上の問題点・課題等>

103万、130万の枠を取り払って一家族での総合所得で課税したら良いと思う。8%、10%となり非常に手間がかかる。

人口減少により家屋お減少し建築数が少ない

人口減、増税、長期政権

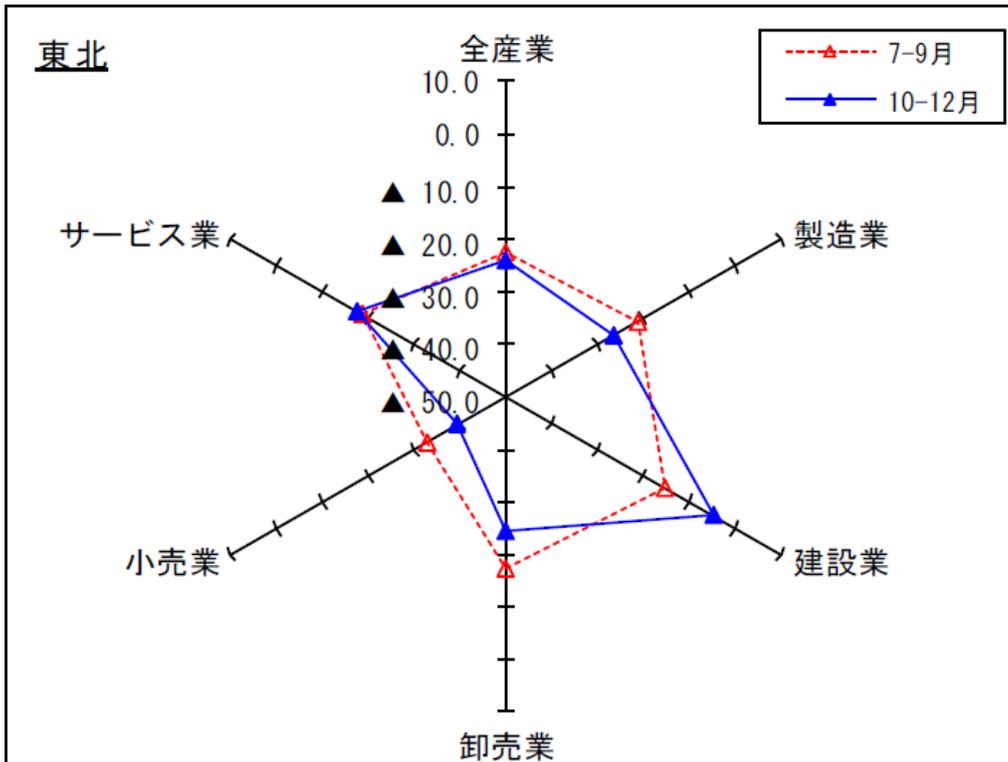
少子化による不安がある。人口減

今期、事業所が直面している経営上の問題点について、重要な順位を回答してもらったが、最も重要視されているのは「事業資金の借入難」18.9%で、続いて「新規参入業者の増加」10.7%、「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」9.8%であった。重要度2位については、「事業資金の借入難」を挙げた事業所が最も多く13.9%、次いで「メーカーの進出による競争の激化」11.5%、「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」8.2%と続いている。そして、重要度3位には、「大企業の進出による競争激化」10.7%、「代金回収の悪化」と「商品在庫の過剰」が7.4%と続いている。

多くの事業所が、「新規参入者の増加」や「メーカー進出による競争激化」、「大企業進出による競争激化」といった「競争」に関することを経営上の問題として重要視されていることがわかった。前年度の調査では、傾向がまた異なり、重要度が高いと回答されたのは、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」、「後継者がいない」といったことであった。

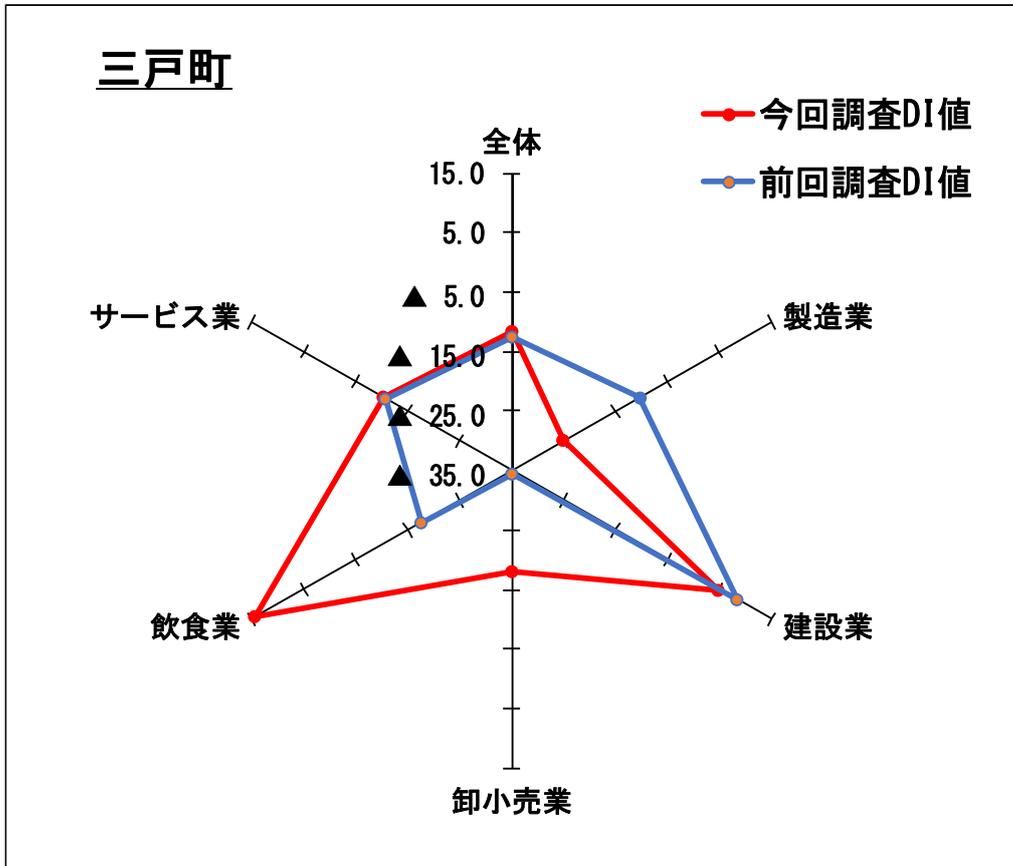
独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表した「第158回中小企業景況調査（2019年10-12月期）」より2010年～2019年までの「東北の業況判断DI値」と本調査のデータにより作成した「三戸町の業況判断DI値」と比較してみたものが次頁の図である。本調査では、業種区分を卸売と小売業を同一にして、飲食業を設けている。東北と比べると三戸町は、「飲食業」や「建設業」の業況が良く、「製造業」の業況があまり良くない結果となっている。

＜東北の業況判断D I 値＞



出所：第158回中小企業景況調査（2019年10-12月期）独立行政法人 中小企業基盤整備機構

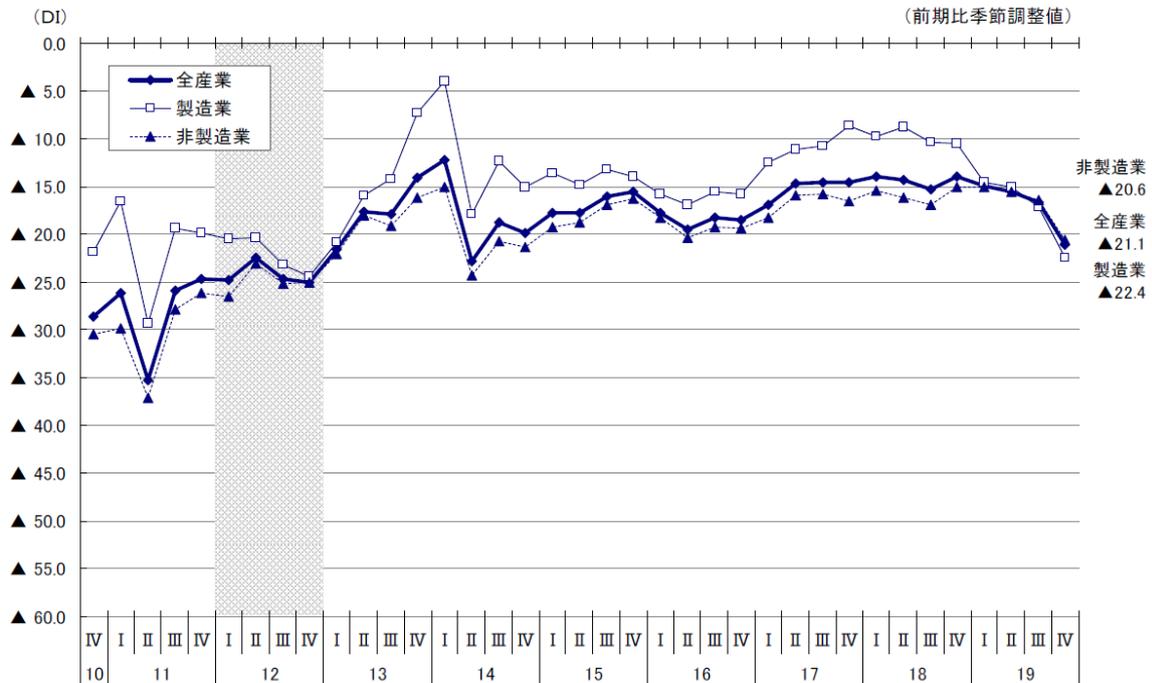
＜三戸町の業況判断D I 値＞



出所：本文P2（1）「今期の自社の業況について」DI値データより作成

参考までに、下図は、独立行政法人中小企業基盤整備機構「第158回中小企業景況調査（2019年10-12月期）」より、「中小企業の業況判断D I 値の推移」のグラフである。2017年上半期までは横ばいの状況で、特に製造業の業況は非製造業と比較してやや業況が良い状況であったが、2019年下半期以降は、全産業、製造業、非製造業ともに業況判断D I 値がマイナス傾向となっている。

＜中小企業の業況判断D I 値の推移＞



出所：第158回中小企業景況調査（2019年10-12月期）独立行政法人 中小企業基盤整備機構

## 1. 前期と比較して、今期の業況についてお尋ねいたします。

下記の各項目について、それぞれ評価してください。(択一方式)

01 自社の業況(共通項目)	良い	さほど良くない	悪い
02 業界の業況(共通項目)	良い	さほど良くない	悪い
03 売上高(建設業を除く)	増えた	さほど増えていない	減った
04 完成工事高(建設業)	増えた	さほど増えていない	減った
05 営業利益(共通項目)	増えた	さほど増えていない	減った
06 資金繰り(共通項目)	楽になった	さほど変わらない	厳しい
07 人員や人手(共通項目)	足りない	ちょうどよい	余っている
08 従業員(含むパート・臨時)	増えた	変わらない	減った
09 原材料等の仕入価格(製造業)	下がった	さほど下がっていない	上がった
10 製(商)品の仕入価(卸・小売業)	下がった	さほど下がっていない	上がった
11 在庫状況(製造業)	増えた	さほど増えていない	減った
12 手持工事高(建設業)	増えた	さほど増えていない	減った

その他業況等コメント

## 2. 設備投資についてお尋ねします。今期と来期の設備投資について教えてください。

(1) 今期 ① 設備投資を実施した ② 実施していない

(2) 来期 ① 設備投資を計画している ② 計画していない

## 3. 今期直面している経営上の問題点を教えてください。

重要度の高い順に、①、②、③と記入してください。

大企業の進出による競争の激化	販売単価の低下・上昇難
メーカーの進出による競争の激化	仕入単価の上昇
小売業の進出による競争の激化	金利負担の増加
新規参入業者の増加	代金回収の悪化
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	事業資金の借入難
商品在庫の過剰	従業員の確保難
人件費の増加	需要の停滞
人件費以外の経費の増加	後継者がいない

その他、経営上の問題点・課題等

※質問は以上です。ご協力ありがとうございました。